

# ブナ便り NO46

作業報告 7月 10日（土）

作業者：渡部、石原、山田、前田、岩田、佐野、吉岡

## 今日は昨年蒔いたブナの苗床の整備をしました。

白い寒冷紗をはぐり、先ずは慎重に指を添えながら草取りをし、今度は黒い遮光ネットに張り替えました。苗の発芽率はかなり悪く責任を感じています。それでも生えたものは順調に生育しています。とにかくこれ以上失敗をしないように大事に育てたいですね。



スギナ根が深く、鉄で根元から切ります。



ほとんど生えていません。この姿を見るとショックです。原因は二つ考えていますが、これを活かせるのも5年後。悔しいです。



悪くともこれ位なら我慢が出来る範囲



これが本物

「蒔かぬ種は生えぬ」勿論。蒔いても生えなかつた。



黒い遮光ネットに変えて、留め具で固定。

今日からプロに徹して管理しよう。

発行 平成 22年 6月 29日  
ブナを育成する会

事務局：  
米子市富益町 1091 吉岡方  
Tel/fax:0859-28-8590

メール : buna-buna@sea.chukai.ne.jp

## 第2農場の状況

### 新芽の伸びとカイガラムシの対策

7月に履いてから時間を見つけて新芽罪と草取りを行なっています。また問題のカイガラムシが元気を出している所もあり、消毒をしております。2回散布したところは効果があるようです。この日（10日）は芽摘みを少しばかり行なった。



## モグラ対策・・・新機種の紹介

丸山生産森林組合の山吹さんの自慢の器具に出くわした。早速購入した試みた。

100発 100中だそうです。



## サクラを支柱で補強



小西顧問が会長している会の大山桜、と河津桜の苗木の手入れ

作業後、涼しさを求めて「地蔵抱きの泉」の清流を濡れながら歩きました。11℃の水温は身に滲みました



裏も見てください、予定をのせておきます。

